

《地域医療情報NO45》速報

名古屋市立2病院(東部・西部医療センター)を 来年4月名古屋市立大学付属病院化すると発表！

8月24日、名古屋市は、市議会委員会の質疑答弁の中で「市立2病院を来年4月に市立大学の付属病院とする」計画を明らかにしました。(以下、名古屋市HPと中日新聞記事を参考に整理)

新組織の概要は、①名市大理事長の下に「病院総括職」を置き、**3つの病院(名市大病院・東部医療センター・西部医療センター)を並列**に位置づける。②医学部卒業生を確保し、3施設一体の人事を行う。③医療資材、医療機器等の一括共同購入による経費節減。③3病院の特徴・機能を特化した高度医療の提供

なぜ今、市民病院の「公立大学附属病院化」なのか？！

- ①市立2病院は経常収支赤字基調で、累積赤字も133億円(2019年度)となっている。
- ②市立2病院の医師の欠員が常態化しており、毎年10~20人程度の欠員が生じ、診療実績の停滞にもつながっている。
- ③これらの課題の中で、2018年度に「市立病院のあり方を考える有識者懇談会」を3回開催し、今後のあり方として『**おおむね市立大学附属病院化をめざすべき**』という意見である。と報告された。(「答申」等の正式な発表はされていない。議事録も非公表) ~その方向性は、どこでも承認された内容ではありません。
- ④しかし、市議会では「附属病院化」を前提とした質疑がたびたび繰り返され、2018年11月議会の中で、市長「附属病院化は市民の皆さんのためになることは確実なので、2020年以内を目標にしてやる」と答弁。
- ⑤これらを受け、2019年度から市立大学と健康福祉局が「**連携協力会議**」を開催。2019/10には全ての医学研究科臨床分野に対して、附属病院化に関するヒアリングを実施。
- ⑥一連の「附属病院化」に向けての検討は、市議会での質疑の中で一定の答弁はされているものの、一度も市民へ向けた「情報公開」等を行われていません。
- ⑦こうした中、8月24日市議会委員会の質疑の中で、当初は、「2022年4月「附属病院化」のスケジュールで検討」を答弁する中、④の市長答弁「2020年度中」を理由に追及され、「来年4月」を表明することとなりました。
- ⑧一方、市民病院の現状と一定期間の運営計画は、「**市立病院改革プラン2017**」としてパブリックコメント実施により市民の意見を反映して策定されており、その中では、経営形態の見直し「地方独立行政法人化も含め経営形態の見直しの必要性について検討して行きます」と記述されており、市立大学との「附属病院化」の検討は一言も触れられていません！ 市立大学・市立大学病院との「連携強化」に向けた各項目メニューが示されているだけです。そして「**計画の進行管理**」では、進捗状況の公表と、見直し「計画を見直すべき合理的な理由が生じた場合は、その理由を明らかにしたうえで、速やかに計画を見直します」とされています。「附属病院化」問題は、まさに経営形態の大きな見直し・変更であり、この「市立

病院改革プラン 2017」の大幅な内容変更にあたります！ この様な計画を、一部の内部だけで具体化を進めて行くことは許されません！ 市政運営のルールを踏みにじる暴挙と言っても過言ではありません！ 民主主義のルールに基づいた慎重な審議・検討と、市民への情報公開こそが求められます！

☆安易な公立病院の公立大学「附属病院化」は、全国 8 カ所の公立大学病院へ

も影響しかねません！

公立大学附属病院と、公立（自治体立）病院の状況									
自治体	公立大学病院			公立（自治体立）病院					
	名称	設立形態	病床数	担当部局	名称	形態	病床数	公立病院改革プラン	現状の動き
名古屋市	名古屋国立大学病院	公立大学法人	800（772+精神28）	病院局	市立西部医療センター	公営企業全通	600	*～2021/3までのプラン「施設化含めて運営形態を検討する」	2018年度「市立病院のあり方を考える有識者懇談会」3回→「市立大学附属病院化めざすべき」の具体化→「2021年4月を目途」と8/24の議会で市側が表明
					市立東部医療センター	公営企業全通	498（408+感染10）		
					市立緑市民病院	指定管理者	300（療養205-100+地域包括105）	H24～R2まで10年間一医療法人純正会	R2/1/24 第1回緑市民病院のあり方を考える有識者懇談会（非公開）
札幌市	札幌医科大学付属病院	公立大学法人	932（890+精神42）	病院局	市立札幌病院	公営企業全通	672（626+精神38+感染8）	中期経営計画2019～2024	経常収支率100%以上をめざす
福島県	福島県立医科大学付属病院	公立大学法人	778（713+精神49+感染14+感染2）	病院局	県立矢吹病院	公営企業全通	196（精神科）		
					県立宮下病院	公営企業全通	32	へきち医療拠点	
					県立南会津病院	公営企業全通	68	南会津医療圏唯一の病院	
					県立ふたば医療センター附属病院	公営企業全通	30（全室個室）	へきち医療拠点 H30/4～	
					県立ふたば復興診療所	公営企業全通			
横浜市	横浜国立大学付属病院	公立大学法人	674（612+精神26+結核16+臨床試験20）	医療局病院経営本部	市立市民病院		650（624+感染26）	再整備計画でR2/5に新規開設	
					市立脳卒中・神経管センター		300		
					市立みなと赤十字病院	指定管理者（赤十字病院）	634（584+精神50）	H17に公設民営で開設	
京都府	京都府立医科大学附属病院	公立大学法人	1065		京都府立医科大学附属北部医療センター	公立大学法人	295（276+感染15+感染4）	H28年に府立与謝の海病院から～	
					京都府立洛南病院		256（精神）		
大阪市	大阪私立大学医学部付属病院	公立大学法人	980	大阪市民病院機構	市立総合医療センター		1063	H15/12開設、H26/10施設化	
					十三市民病院	地方独立行政法人	263（224+感染39）		
					住之江診療所		小児科、産婦人科		
奈良県	奈良県立医科大学付属病院	公立大学法人	992	奈良県立病院機構	総合医療センター		540（運用400）		
					西和医療センター	地方独立行政法人	300（	S54県立三宮病院～H26/4県立病院機構	
					総合リハビリテーションセンター		100（26+回復リハ74）		
				南和広域医療企業団（一部事務組合）	南和広域医療企業団～奈良県立総合医療センター		232		
					南和広域医療企業団～吉野病院		96（50+療養46）		
和歌山県	和歌山県立医科大学付属病院	公立大学法人	800（760+精神40）		南和広域医療企業団～五條病院		71（45+療養26）		
					県立こころの医療センター		300（精神）		
	和歌山県立医科大学付属病院紀北分院		104（100+感染4）						

★名古屋市立病院—もう一つの運営形態の見直し検討も始まる！

《緑市民病院》現行—指定管理者運営（医療法人純正会）

今年 1 月 24 日「第 1 回緑市民病院のあり方を考える有識者懇談会」が開催され、今後の方向性が話し合われています。（非公開）

* 緑市民病院は 2012 年 4 月から 10 年間の契約で「指定管理者」運営されており、**2022 年 3 月までの契約**であるために、その後の在り方について検討が始まっています。しかし、「有識者懇談会」で非公開の密室協議で具体化を図ろうとしており、市民の財産である市民病院の将来構想を一部の関係者のみで決めてしまおうとするものであり、「附属病院化」を進める 2 センター病院とともに、市民病院のあり方を市民の見えないところで勝手に決めてしまおうとする暴挙です！